

代表者名	石田俊介	所管部課名	産業経済労働部産業経済政策課
所在地	秋田市土崎港西一丁目9-1	設立年月日	平成元年7月10日

【沿革、及び、県の出資理由】

国・県・市の主導による「ポータルネットワークス21事業実施計画」に基づき、秋田港の活性化を図るための第一弾として秋田ポートタワーの建設・運営を目的に設立。秋田県は臨港地区の活性化事業という公益性に鑑み25%の出資を行った。

【出資者】(15年度当初)

(百万円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	250	25.0
市町村	1	250	25.0
その他	46	500	50.0
計	48	1,000	100.0

【事業】

主たる業務

秋田ポートタワー「セリオン」の経営

事業実績

(単位：人)

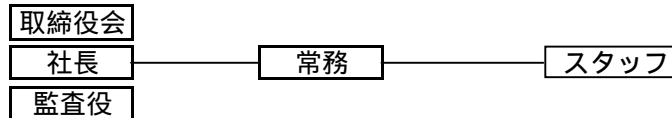
事業名等	12年度	13年度	14年度
有料展望者数	81,207	73,629	80,985

14年度事業概要、及び、15年度事業計画・目標

- ・(14年度事業概要) 展望、施設及び店舗の賃貸、業務受託等を事業として実施。
- ・(15年度事業計画) 前年度同様の事業内容を展開する。積極的な営業活動と社内効率化を推進する。

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	取締役	監査役
常勤	2	1
内、県OB		
非常勤	6	2
内、県OB		1
内、県職員		
計	8	3
内、県関係者		1

社員数

(人)

正社員	5	正社員平均年齢	28.8歳
内、県OB			
出向社員			
内、県職員			
臨時・嘱託	6	正社員平均勤続年数	7.1年
内、県OB			
計	11		
内、県関係者			

【財務】

損益状況(14年度)

(百万円)

	金額
経常収入 A	419
受託事業収入	36
補助金収入	274
自主事業収入	108
運用益収入	
その他	1
経常支出 B	385
人件費	57
その他	328
経常損益 C = A - B	34
経常外収入	0
諸税	17
当期損益	17

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額
0	0

財務状況(14年度末)

(百万円、%)

	金額	構成比
流動資産	65	2.5
固定資産	2,563	97.5
資産計	2,628	100.0
流動負債	255	9.0
短期借入金	222	7.8
固定負債	1,395	49.3
長期借入金	1,338	47.3
引当金等		
負債計	1,650	58.3
資本金	1,000	35.3
剰余金	-22	-0.8
資本計	978	34.6
負債・資本計	2,829	100.0

(千円、%)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	4,390	中小企業退職金共済制度利用	100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	12年度	13年度	14年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	4,281	0	0	
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	1 2 年度	1 3 年度	1 4 年度	12-13増減	13-14増減
健全性	自己資本比率	%	31.49	33.95	37.21	2.45	3.26
	借入金依存率	%	65.99	63.21	59.40	2.78	3.80
	流動比率	%	33.65	29.94	25.57	3.71	4.37
収益性	剰余金（ 欠損金）	千円	40,191	39,428	22,105	763	17,323
	経常利益率	%	0.25	0.65	8.04	0.40	7.40
	総資本利益率	%	0.03	0.10	1.28	0.06	1.19
発展性	経常収入額	千円	425,005	417,242	419,039	7,763	1,797
効率性	総資本回転率		0.14	0.15	0.16	0.01	0.01
	職員 1 人当たり経常収入	千円	38,637	37,931	46,560	706	8,629
	人件費比率	%	13.36	13.14	13.69	0.21	0.54

2 経営目標の達成状況

経営目標			1 2 年度	1 3 年度	1 4 年度	1 5 年度
経営改善指標	経常利益(百万円)	目標				40
		実績	1	3	34	
経営改善指標	借入金残高(百万円)	目標				1,339
		実績	2,011	1,788	1,561	
事業成果指標	売上高(百万円)	目標				166
		実績	176	169	174	
事業成果指標		目標				
		実績				

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

- 平成14年度は営業収益の増加と営業費用の減少により約17百万円の利益を計上し、その結果繰越欠損額を約22百万円まで圧縮することができた。
- 当社の課題は、建設費の負担が重いことによる損益面・資金面の圧迫にあることにある。そのため秋田市から補助金を受けている状況にあるが、運営に関しては、秋田港活性化の目的を果しつつ、積極的な営業活動を行うとともに収益確保のための努力をしている。

4 総合評価

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
------------	---------------